

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040400		事業の種類	2	
年度	23	事務事業名	コミュニティ住宅管理事業		予算事業名	コミュニティ住宅管理事業 重要度 3	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名 建設経済部建設管理課				
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長 岸本 光義		担当者名 宇久 勝志		
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載 有		主要事業の指定 無		
実施計画事業名	コミュニティ住宅管理事業		コミュニティ住宅管理事業				
根拠法規及び関連法規	コミュニティ住宅条例・コミュニティ住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者					
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。					
事業の全体年度	事業着手年度	(年度)			事業完了予定年度	(年度)	

2 事業の概要 Do

実施の概要	那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した那波丘の台コミュニティ住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	コミ住維持管理費	千円	3,207	3,638	3,386	3,509
	コミ住家賃収入	千円	24,812	26,597	25,335	26,123

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.163	0.163	100	0.164	101	0.164	100	
	臨時職員	0.050	0.050	100	0.052	104	0.052	100	
支出内訳	人件費	1,661,526	1,662,222	100	1,732,208	104	1,714,524	99	
	事業費	3,207,477	3,637,960	113	2,902,102	80	3,509,000	121	
	合計	4,869,003	5,300,182	109	4,634,310	87	5,223,524	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	24,811,850	26,596,500	107	26,212,000	99	26,123,800	100	
	一般財源	-19,942,847	-21,296,318	107	-21,577,690	101	-20,900,276	97	
合計	4,869,003	5,300,182	109	4,634,310	87	5,223,524	113		

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	
全体進捗率	事業費累計				
	進捗率				

4 評価指標

【有効性】

指標名1		コミュニティ住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全58戸×100 目標率:H22=58戸-4戸(事業用空)／58戸×100=93.1%、H23=58/58戸=100%(事業用)							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
%	目標	91.4	93.1	101.9	100	107.4	100	100.0	
	実績	91.4	91.3	99.9	94.8	103.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		コミュニティ住宅収益率							
指標説明(式)		コミュニティ住宅家賃収入／コミュニティ住宅維持管理費×100（100%以上が健全経営とする）							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-	774	-	744	96.1	
	実績	774	731	94.4	748	102.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性			
有効性	成果目標(改善)達成度	事業入居者が退去した後の空部屋を有効利用するために、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区画内の住居者のために建築した住宅であるため、事業対象者用の空部屋を確保しておかなければならない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	公募による一般入居を逐次行い、入居率の向上に努める。

配点	25
総合評価	19